



すたが

荻田町青少年育成町民会議だより



人形劇を熱心に見入る園児たち

▲伝承工作と
人形・お手玉づくりを
体験する児童たち

心豊かで
たくましい 青少年の育成を目指しましょう



▲第11回ふれあいウォークラリー大会と
◀12年度港まつりパレード時の様子

平成12年度 荏田町青少年育成町民会議

総 会

- ◎ 「大人が変われば子どもも変わる運動」
(子どもは親の後姿を見て育つ)
- ◎ 「地域でのおじさん・おばさん運動」
(家庭、地域社会、学校・関係行政機関の連携)

伊塚会長あいさつ

この町民会議は発足して12年を迎えました。その間、町民の代表として青少年の健全育成にご尽力いただき厚く感謝申し上げます。

しかしながら、青少年の非行及び被害は全国的に続発かつ深刻化しております。今後共、ご協力、ご指導の程お願いいたします。……(骨子の要約)



4月28日(土) 18時
町中央公民館第5研修室
会(委)員200名中、
出席者97名 委任状51名。
来賓 町議会議長(代理)
行橋警察署長(代理)
町助役

12年度 11月までの主な事業

- 4月2日 健全育成ポスター県表彰(入賞者31名中10名参加、県子連・健全育成部会)
- 4月19日 町民会議「いじめ防止協議会」(P6参照、全部会共通)
- 4月28日 第12回総会(全部会共通)
- 4月中 街頭補導(春休み特別、定例、等覚寺松会など5回・補導環境部会)
- 5月20・21日 港まつり花火大会補導・パレード参加(両日共 各40名以上参加)
- 5月28日 第11回ふれあいウォークラリー大会開催(P3参照、健全育成部会)
- 5月中 「家庭の日」「オアシス運動」のチラシ作成、一部配布(総務・家庭部会)
- 5月中 定例街頭補導(花火大会時含め3回・補導環境部会他)
- 6月1日~7月6日 町内保育・幼稚園、オアシス運動の人形劇(P5参照・家庭部会)
- 6月中 定例街頭補導(2回、補導環境部会)
- 7月中 「青少年を非行から守る全国強調月間、社会を明るくする強調月間」
- 7月22日 有害図書・図画等に対する要望書提出(30ヶ所訪問、補導環境部会)
- 7月23日 町民会議健全育成講演会(P4に一部記載・総務部会)
- 7月25日 すこやか32号の発行(町民会議編集委員会)
- 7月中 町内各小・中・高校へ、「家庭・オアシス運動などの作品・ポスター」募集(P4に案内)(家庭・健全育成部会)
- 7月中 街頭補導(夏休み特別、定例・補導環境部会、生徒指導研修部会)
- 8月5日 少年非行・シンナー等薬物乱用防止研修会(P4に案内、補導環境部会他)

12年度の基本方針

- 一、町民参加による地域・家庭・学校の連携を強める。
- 一、「いじめ」問題をはじめ、少年犯罪や非行防止活動を推進する。
- 一、青少年にとって良好な環境づくりに努め、被害防止活動を促進する。
- 一、青少年の体験活動を充実し、自立・社会性を高揚する健全育成運動を促進する。
- 一、広報・啓発活動を一層推進する。



- 8月 第3回部会長会
盆踊り大会参加
- 9月 夏休み特別・定例補導
いじめストップ強調月間中にキャンペーン実施
定例補導
- 10月 神幸祭、町民体育祭、こどものつどい参加
定例補導・研修視察
全国青少年健全育成強調月間
- 11月 家庭シンポジウム開催
作品・ポスター表彰
すこやか33号発行
定例補導

7月は青少年を非行から守る強調月間

この機会に自分・地域の子どもを見直しましょう

部会紹介

健全育成部会



構成団体は、育成会連合会、レクリエーション協会、スポーツ少年団、青年団協議会、社会福祉協議会、青少年問題協議会、JA刈田等町内の諸団体の代表者によって運営しています。

一、体育祭やマラソン大会などの体育事業への参加を奨め、青少年の心身の健全育成を図る。

第11回 ウォークラリー大会



5月28日(日) 8時30分～12時
パンジープラザ広場・出発とゴール

○全国一斉ウォークラリー大会に合わせ、全国・県レクリエーション協会とカルスト・フェスティバル2000刈田と共に。

○前日の雨から一転、好天に恵まれた中、40組153名が集いました。

○今回は72才～5才にハンディ者、さらには、町内「歩こう会」の皆さんや北九州保育福祉専門学校の学生と、従来の親子や子ども同士以外の人たちもいました。

○中でも、子ども同士の参加が目立ち、友だちの和が見られ、健全育成に一役果たしたと思います。

○ウォークラリー途中に、「この山の名は」「この神社名は」などの質問やゲームが用意されていて、刈田町内の再発見にも役立ったと思います。

一、ふれあいウォークラリーや高齢者を含めた町民の協力による「各種の(伝承)工作と遊び」を通して、地域の人々と友だちとのきずなを深め、豊かな心と仲間をつくる団体活動の重要性を確認させる。

一、町内全小・中学生に健全育成ポスターの応募を願い、自ら健全育成を目指す。



「ねえ、行き先をまちがえたかね。」「いや、ここに池があるから、いいんじゃない。」とまさに協同ラリー展開中です。

4km一位	藤井美代子チーム
二位	松村 芳雄
三位	坂本奈穂子
7km一位	高田 忠宏
二位	片峯 葉月
三位	矢野 繁信
7km一位	末弘まどか
二位	森 万理
三位	深田 浩二

なお、この開催に当たり、健全育成部会をはじめロータリークラブ、戸早学園学生、町レクリエーション協会、町育成会ジュニア(刈田生は運動会順延と重なる)の皆さん方が、進んで協力していただきました。さらに、ボランティア「若葉会」の方がうどん販売をしていただきました。お礼申し上げます。

働くことを知ったよ。

田植えの体験

去る6月10日(土)、丸谷寿代さん所有の水田をお借りして、町育成会所属の子どもたち約30名とその保護者10名がもち米の手植えを試みました。



▲(育成会子どもたちの田植え風景)

これは、町民会議総務部会所属のロータリークラブが健全育成部会所属の町育成会連合会と共催したものです。

10月に稲刈り

12月にチャリティーもちつき大会を予定しています。

○初めての経験できつかった。これがお米になるなんて。

○足・腰が痛くなった。こんな苦勞をしてつくったお米を当

たり前のように食べている。

○百聞は一見、一見より体験が重要ですね。

ご案内

◎少年非行・

シンナー等薬物乱用防止研修会



一、日時 平成12年8月5日(土) 18時～21時

一、場所 町中央公民館第5研修室

一、内容 映画「親たちのスクラム」子供たちの非行を防ぐ」
「県内非行の実態」(県青少年課、五島俊明氏)
「少年非行の実態とその相談について」の講話
(北九州市立南少年相談室、山手幸枝先生)

参加者全員による青少年問題についての質疑及び意見交換

一、参加者 全町民対象、入場無料

なお、この研修会は県青少年健全育成対策推進本部(青少年課)と共催です。



▲(今夜も続く街頭パトロール)

健全育成講演会に集う

(総務部会)

平成12年7月23日(日)、パンジープラザにおいて、地域の方々、保護者、教職員多数が参加してくださいました。

講師の前田川市立鎮西中学校校長、秋元定憲先生が「もう一度家庭を見直そうー私が体験したちよつといひ話ー」と、題して話されました。

青少年の健全育成に、町民として何ができるのかを、事例をもとにして、ユーモラスに、参加者に訴えました。

◎健全育成ポスター募集(健全育成部会)

対象一町内小・中学生



▲(昨年度の県子連入選作品より)

◎オアシス(あいさつ)・

家庭の日運動作品募集(家庭部会)

内容一作文、標語、ポスター、

書道、実戦記録

(小・中・高校生)

作文一400字づつ、タテ書き、小は2、中・高は3枚程度

標語一一人一句

ポスター大きさは4つ切り

書道一小1・2年 かわ

3・4年 会話

5・6年 家族

中学生 親子対話

高校生 家庭教育

全てかい書で

課題一友だちづきあい、非行の低年齢化、いじめをなくす、心のふれあい、遊びの見直し、心と体をきたえる、万引きをなくす、良い習慣づくり、耐える力を育てる、読書の習慣をつける、健康づくり(毎日の食事)、子ども会活動など。

作品一大きさはB3(54cm×38cm)

注意一一人一点、小1～3年生は絵だけでもよい。4年生以上は簡単なことば(標語らしいもの)を入れて描く。

べ切一9月11日、各学校へ提出

子ども会加入者のみ県子連へ提出。

半紙タテ書き、毛筆

作品の表に、題材・学年・氏名を書く。

実践記録一学年、学級、子ども会、地域、家庭などでの実践記録

400字づつ4枚程度

べ切一12年9月4日(月)

提出一各学校又は町民会議事務局(三原文化会館内)

その他一全作品は県民会議へ提出のため返却なし。標語の一部は立看板用に使用予定

青少年むけ有害図書・

図画類の販売要望

平成12年7月22日(土)、補導環境部会員を中心とした約40名の会員が、3班に分かれて、町内の書店やビデオ店等を訪問しました。

大半のお店が例年のことながら、青少年に対しての配慮をしてくださっていました。



先般、県知事名で県条例に基づく、各警察署との連携による立入調査や一層の補導活動の充実依頼がまいりました。

性犯罪被害や性の逸脱行為、シンナー等薬物乱用の非行未然防止活動です。町民の皆様も、ツートショットダイヤル等にも関連してご協力ください。

ふ れ あ い

インタビュー

13

平成7年度よりはじめましたこの「ふれあいインタビュー」は、各方面から好評の声やたよりをいただき、今年度も継続します。

「ぼくの、私のが写っているよ」「こんなことって恥かしいが、それだけに頑張らなくっちゃ」

- 一回 片島ソフトバレークラブ
- 二回 サッカースポーツ少年団
- 三回 向山少年陸上クラブ
- 四回 町少年少女合唱団
- 五回 荏工インターアクトク
- 六回 尾倉ソフトボールチーム
- 七回 レクリエーション協会
- 八回 シニアリーダー
- 九回 荏田中学校リード部
- 十回 剣道クラブ(3ヶ所)
- 十一回 バドミントンクラブ
- 十二回 荏田柔楠会

町内空手道場

みやこ道場

設立 H.11

●館長名 中田輝美 他

指導者 田中龍

一・幸治

顧問 金谷大漢

●部員数 13名

●練習日 毎週月・木曜日

18時〜与原の中
田ビル1F道場

●空手道とは 館長談

「心・技・体を合わせた日々の練習を通して、礼儀作法、体力づくり、精神力を養うことにより、人格完成、人間性豊かに育つことを目標としています。年齢や性別を問わず、世界共通の空手道を生涯スポーツとして、楽しく頑張ってくださいませ。」

与原会

設立 S.52

●館長名 山中哲雄 他

指導者 白石太

●部員数 15名

●練習日 毎週火・土曜日

18時〜

新津中学校体育館

●与原会のモットー

白石師範談、「空手道を通して、健全な体をつくり、礼儀と忍耐と努力の精神を養うようにしています。つまり、青少年の心身の鍛錬に役立て、明朗・快活な青少年の育成を第一としております。」

「又、与原会は、老若男女、年齢を問わず、どなたにも修練を積む会にしています。」

新栄会

設立 S.57

●館長名 沖永勝則

●部員数 15名

●練習日 毎週火・金曜日

17時〜 与原の

館長宅2F道場

●インタビュー



(自ら全国大会に出場している、館長のもと、練習が続く。)

- 文武両道に励みたい。
- 小2より始め、中1で初段に。礼儀と努力を学ぶ。
- 練習はきついけど、全国大会に出場できるのでうれしい。
- しっかり練習して、帯の色をあげたい。
- 組手を強くしたい。
- どろぼうなんかには負けないぞ。(上学年から順に)

人形劇

おもしろかったよ

○6月〜7月にかけて。

○町内各保育園・幼稚園対象

○パペット・ワンピース共催

○人形劇を通して、あいさつ(オアシス)運動の大切さを。

○劇後、「オアシス」のチラシを全員に配布。

○各家庭でも、劇とチラシをもとにした親子の対話を。



○劇中における子どもたちの表情は、きらきらした目、くい入るような姿でした。さらに、訪問した時と帰りにもあいさつが良くでき、その明るさ、純粋さ、素直さに心がなごみました (事務局 稲生)

すこやか

Q & A

Q

最近の青少年事件や犯罪には人間性が問われている。その原因・背景の一つに「いじめや不登校問題」もあると聞いています。町内のいじめや不登校について知らせてください。

最近の青少年事件や犯罪には人間性が問われている。その原因・背景の一つに「いじめや不登校問題」もあると聞いています。町内のいじめや不登校について知らせてください。

A

「いじめ」とは、特定の子に、長期間（一過性ではない）、自分（たち）より弱い者に、一方的に苦痛（精神的・肉体的）を与えることをいいます。

不登校については、町教育委員会で、月5日以上の欠席者を調べ、年間を通して

町民会議「いじめ防止協議会」では、去る4月19日に今年度第1回を開きました。

荊田中学校々区（小・中学校合同）いじめ問題対策協議会の方と町教育委員会指導主事より町内の実態や取り組みについて報告を受けました。

いじめについてのアンケート

- ①今の学年でいじめられたことがある 6.5%
- ②今いじめられているようだ 2.1%
- ③今の学年でいじめたことがある 2.1%
- ④今いじめられているようだ 0.5%
- ⑤こんなことでいじめられている

悪口やあだなを言われる。
たたかれる。けられる。物を隠される。
仲間はずしされる。
ムカツクと書かれる。

- ⑥こんなふうにいじめられている

ちょっかいを出して相手を泣かしている
悪口やおもしろ半分で。
のけ者にしたりしている。
仕返しも、されているけど……。

（以上、11年度の荊田中学校区いじめ問題対策協議会の資料より）

長期欠席に関する実態

- ①年間合計30日以上欠席者数

小学生 5（復帰者 2）名
中 18（ 3）名

- ②休みがちになったきっかけ（重複含む）

親子関係をめぐる問題	10名
本人に関わる	10
病気による欠席	9
不明	4
友人関係をめぐる問題	3
学業の不振のために	3
家庭の生活環境の急激な変化	2
入学・転編入学、進級時の不適応	1

- ③欠席が多くなった理由（重複含む）

無気力	8名
不安など情緒的混乱	7
複合	6
学校生活上の影響	3
対人緊張、頭痛歯痛の心因	3
意図的な拒否	1
あそび、非行	1

- ④現状

ときどき登校している	13名
家庭に閉じこもっている	4
病院や診療所に通っている	2
適応指導教室に	1

（以上、11年度町教育委員会調査より）

「いじめや不登校問題」・
「青少年の非行や被害防止」に、町民として、
「何ができるか」が
問われています。

○課題として、
個人の権利やプライバシーに関することがあり遠慮している場合がある。
保護者同士が仲が悪く、それが子に影響している場合がある。
タバコを吸っている。二人乗りなどの自転車マナーが悪い。スカートを短い。など気になることを見ても知らないふりをする人が多い。
○この様な意見交換の中から解決例も出されました。
自分自身「強くなれ」といいきかせ、言動を受けた時、言い返した。
日頃の態度や会話の変化に気づき、思いきって、友だちや保護者同士、先生に協力してもらい、元気になった。

「よい話かん」

祖母 孫よくつになった。
孫 17才だよ。

祖母 ギクッ。

孫 おばあちゃん、大丈夫だよ。自分を尊ぶ（自尊心）は他人への思いやり、特に生命の大切さに心がけられるかだよ。

祖母 さすが、わが孫だね。
孫 うん。自分を見つめ直す事。その時、将来の展望、

良き行動への意欲、人権（いじめ含む）への関心、良き仲間意識、自己理解の柔軟性がどの程度で、それを育てていく事だと思ふよ。

12年度の編集委員

委員長 千原 勲（総務）	委員 宮下 幸信（ 〃 ）
委員 濱田いさ子（ 〃 ）	委員 森 勝男（ 〃 ）
委員 田畑 隆（補導）	委員 山本 節子（家庭）
委員 田畑 弘志（健全）	委員 辻本 浩二（事務局）

編集・発行

荊田町青少年育成町民会議

すこやか編集委員会

☎ 434・1111内線390